

事業所における自己評価の集計結果

令和4年2月実施

児童発達支援事業所 ペンギン教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		昨年同様、グループ指導等、密にならないよう配慮を行ってきた。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	③	障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達を作成しているか	<input type="radio"/>		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		
	⑬	子どもの状況に応じて、個別の活動と集団活動を適宜組み合わせで作成しているか	<input type="radio"/>		基本個別指導主体で行っているが、幼稚園や保育園の集団生活の中での困り感(お友達との関わりや言葉で相手に上手に伝えることなど)があるお子さんを対象としたグループ指導を行っている。
	⑭	児童発達支援計画に沿った支援を行っているか	<input type="radio"/>		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達及び放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当職員が出席
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて訪問したり、連絡を取りながら連携、情報共有を図っている。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在該当される子どもの利用がない。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて対応
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	㉕	他の発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		担当職員が参加
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		個別指導時に担当職員が必ず対応。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		
	保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等、丁寧に説明を行い、保護者からの同意を得ているか	○	
㉚		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
㉛		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		対応できる体制は整えている。
㉜		個人情報に十分注意しているか	○		

	③③	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
非常時等の対応	③④	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		個別主体であり、個別指導時は保護者が常に傍にいますので、周知はできていない。感染症等対策はきちんと行っている。
	③⑤	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		町の施設内での事業運営のため、町に準ずる訓練に職員のみ参加している。年1回程度
	③⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	③⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援及び放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在該当する方はいないが、身体拘束が必要なお子さまには必要性の説明・同意書を交わすようにしている。
	③⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。